

地球環境と産業化研究会 (SGEIS)

SGEIS 基礎講座シリーズ

テーマ：SDGsと地球環境問題 — 破滅的事態に至らないために今すべきことはなにか？

— 国連が定めたSDGsについて元国連大使からの話を直接聞き意見交換できるまじないチャンス！ —

※SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。

内 容：SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標(17分野169項目)です。一方、脱炭素社会の実現に向けてカーボンニュートラル構想が急速に動きつつあります。このような状況下、一般市民が理解しておくべきSDGsと地球環境問題についての概要と心構えを2名の講師の方々に解りやすくお話いただきます。そして、具体的な取組み事例を参考に、一般市民として何ができるかを皆さんと共に考えます。

【第1回】コロナ時代のSDGs – 国連と日本外交の取組み

①世界がめざす「サステナブルな社会」とは ②世界のSDGs達成状況は？日本は？

講 師：関西学院大学教授(元国連大使) 神余隆博氏

【第2回】コープこうべが取り組むSDGsと環境問題

①コープこうべの理念とSDGs ②サステナビリティ推進の具体的取組

講 師：生活協同組合コープこうべ環境推進統括 鬼澤康弘氏

日 時：【第1回】2021年6月26日(土) 13時30分～15時10分

【第2回】2021年7月3日(土) 13時30分～15時10分

13:30～13:35 主催者挨拶・進行について

13:35～14:05 講義① 14:05～14:20 質疑応答

14:20～14:50 講義② 14:50～15:05 質疑応答

15:05～15:10 事務局連絡・終了

場 所：オンライン形式(Zoom)

参加申込者には、後日入室方法を連絡します。

対 象：参加資格不問(特に大学生、大学院生、新社会人の参加を歓迎します)

定 員：20名程度(先着順、申込人数が定員になり次第締め切ります)

参加費：無料

主 催：地球環境と産業化研究会(Society for Global Environment & Industrialization Studies)

後 援：神戸地域ビジョン委員会地球いたわりグループ

お申し込み方法(締切:2021年6月18日)

下記のサイトからお申込みください。SGEIS 事務局より受付確認メールが送信されます。

<https://forms.gle/s6SyjEMVMzrPxZmb9>

この申込サイトが利用できない場合は、参加希望回(日)を、会員は氏名・会員番号、非会員は氏名(ふりがな)・所属・住所・電話番号を明記のうえ、info.sgeis@gmail.com までお申し込みください。

講座内容

【第1回】コロナ時代のSDGs – 国連と日本外交の取り組み

2050年カーボンニュートラルを目標に社会の大変革・大転換が予想される中で、普段聞けない国連や外交レベルの観点からSDGsと地球温暖化、災害、感染症などの対応について解りやすくお話いただきます。

①世界がめざす「サステナブルな社会」とは:2015年9月の国連総会で「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この国際目標が定められた背景や具体的行動指針の内容についてお話しいたします。

②世界のSDGs達成状況は?日本は?:2016年にスタートしたSDGsは着実に進んでいるのでしょうか。国連が様々な形で数値化・検証している17の目標の達成度についてお話しいたします。

【第2回】コープこうべが取り組むSDGsと環境問題

コープこうべは環境憲章として基本理念や行動指針を設定し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めています。その中で、SDGsにつながる環境問題への具体的な取り組み事例を紹介いたします。

①コープこうべの理念とSDGs:100年前の創立当時から受け継ぐコープこうべの理念と、今日のSDGsの目指す姿の共通点について俯瞰し、また環境問題を組織の根源的な課題として捉え、積極的な目標を設定していることについて紹介いたします。

②サステナビリティ推進の具体的取組:サステナビリティ推進(CO2排出量半減・食品廃棄物半減・プラスチックの排出削減、エシカル商品・サービスの供給・消費の拡大など)の具体的取組について紹介いたします。

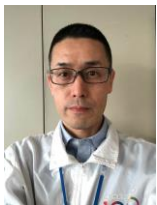
講師略歴



神余隆博氏:関西学院理事、関西学院大学教授(国連・外交統括センター長)

1972年大阪大学法学部卒業、外務省入省。ドイツ・ゲッティンゲン大学留学 在スイス、中国、ドイツ日本大使館勤務、外務省国際連合局軍縮課長、国連政策課長、外務省欧州局審議官、2002年在デュッセルドルフ日本国総領事、2005年外務省国際社会協力部長(大使)、2006年国際連合日本政府代表部特命全権大使、2008年在ドイツ特命全権大使等を歴任。2012年外務省退職後、関西学院大学副学長に就任。

法学博士(大阪大学)。日本国際連合学会理事長、NPO 法人マリア・ノーモア・ジャパン理事長、地球環境と産業化研究会(SGEIS)評議会委員等を務める。著書に『新国連論』『国際平和協力入門』『国際危機と日本外交』『多極化世界の日本外交戦略』他。



鬼澤康弘氏:生活協同組合コープこうべ環境推進統括

1999年、生活協同組合コープこうべに入所。2019年、環境推進。現在に至る。